

# 市長の心と手

～自らの思いを皆さんに語るコラム～



## 今月のテーマ 平和マラソン

今年11月29日に、長崎市で初めてのフルマラソン大会「長崎平和マラソン」が開催されます。

長崎市はこれまで、フルマラソンができません。それは道が狭くて坂が多く、長い時間の交通規制が難しかったり、そもそもコースが取りにくかったり、という理由からです。

それでも、なんとか開催できないか、という声はこれまでもありました。それが実現することになったのは、警察やスポーツ団体、コース周辺の自治会など、多くの皆さんが実現に向けて力を合わせてくれたおかげです。心から感謝します。

\* \* \*  
狭い道を駆け抜ける、といえば、世界新三夜景のモナコを訪れた時のことを思い出します。

モナコは面積が約2平方キロ。長崎市の約200分の1です。散歩をしていると、いつの間にか隣のフランスに入ってしまうような小さな国で、坂も多く、道は当然狭いのですが、なんとその道を使って

F1グランプリを行っているのです。  
長崎によくあるようなくねくね曲がった細い坂道を通りながら、案内役の大使に「本当にここをレーシングカーが走るんですか？」と思わず聞きました。

大使は「そう思うでしょう？だから人気があるんです。こんなに近くでF1を見られるのは世界中でモナコだけです。だからと答えてくれました。この狭さだと前の車を抜くことは無理なんじゃないですか？」という質問には「そのとおりです。F1はシリーズで戦っているのですが、モナコグランプリで順番が入れ替わることはほとんどありません」と笑いながら教えてくれました。

「できないだろうとみんなが思う場所だからこそ、そこでやる価値がある」。モナコが小さくても、立派に国を運営できているのは、こういう知恵が随所に発揮されているからです。フルマラソンができないといわれて久しい長崎市で開く「長崎平和マラソン」も、だからこそユニークなマラソン大会にできる可能性がある

ある、と思います。  
\* \* \*  
「長崎平和マラソン」のキャッチフレーズは「ピース・フロム・ナガサキ」。選手たちの背中のゼッケンには「ピース・フロム」の後に、それぞれの出身地を書いてもらいます。もちろん一人一人からの平和のメッセージも。

みんなが平和のメッセージを発信しながら走る姿は、昨年ローマ教皇が爆心地で言われた「核兵器のない世界の実現にはすべての人の参加が必要」という言葉をかたちにすることもできます。

長崎平和マラソンは3月に参加者募集を始めます。世界中の人とともに、平和への思いを発信する機会にしたいと思います。



参加者募集のお知らせ  
裏表紙(36ページ)かホームページで。



### ながさき フチ旅行

隠れ桜スポット  
東山手十二番館

観光名所としても多くの人が訪れるオランダ坂を上ると、見えてくるのが長崎の代表的な街並みのひとつ洋館群。

その中でも、東山手十二番館は明治元年の建設と推定され、初期洋風建築の代表例。東山手地区では現存最古の遺構です。現在は旧居留地私学歴史資料館として、居留地時代に使われていた食器や家具、女子高等教育の歴史資料などが展示されています。

そんな歴史ある洋館、実は、隠れた桜の名所なんです。明治からただけの人が桜舞う洋館にロマンを感じてきたのではありませんか。この季節にしか見れない桜とのコラボを味わってみては。